

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第51期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社マルタイ
【英訳名】	MARUTAI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 原田 浩
【本店の所在の場所】	福岡市西区今宿青木1042番地 1
【電話番号】	092-807-0711
【事務連絡者氏名】	経理部長 松岡 悦雄
【最寄りの連絡場所】	福岡市西区今宿青木1042番地 1
【電話番号】	092-807-0711
【事務連絡者氏名】	経理部長 松岡 悦雄
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第2四半期累計期間	第51期 第2四半期累計期間	第50期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	3,354,802	3,496,603	7,400,795
経常利益又は経常損失( ) (千円)	77,825	345,403	44,017
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失( )(千円)	68,249	331,015	54,976
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)			
資本金(千円)	1,989,630	1,989,630	1,989,630
発行済株式総数(千株)	9,610	9,610	9,610
純資産額(千円)	7,514,777	7,114,349	7,537,252
総資産額(千円)	9,266,289	8,826,005	9,744,166
1株当たり四半期(当期)純利益又 は四半期純損失( )(円)	7.14	34.64	5.75
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)			
1株当たり配当額(円)			10.00
自己資本比率(%)	81.1	80.6	77.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	30,531	324,005	337,540
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	384,882	88,882	688,952
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	107,180	396,156	168,162
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,418,776	330,006	313,275

回次	第50期 第2四半期会計期間	第51期 第2四半期会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益又は四半期 純損失( )(円)	3.68	18.38

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高に消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益は、持分法適用会社がないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。  
また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策や日銀による質的・量的な金融緩和の効果等の影響を受け、円安や株高が進展した結果、輸出や個人消費を中心に緩やかな回復基調ではありましたが、海外経済は不安定な要素を数多くかかえ、先行きが見通せない中で推移いたしました。

食品業界におきましては、依然としてデフレによる低価格志向が続く市場環境の中で、原材料高や同業他社との競合激化など、依然厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は主力製品である棒ラーメンや皿うどんの販売強化、新製品の市場投入等による新規需要の開拓に努め、特に棒ラーメンにつきましては売上を大きく伸ばすことができました。

一方、本年1月に竣工した福岡工場及び本社社屋の減価償却費により、厳しい収支が見込まれており、コスト削減や業務効率化を徹底して参りました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、3,496百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

また、利益面につきましては、減価償却費が増加したこと等により営業損失は350百万円（前年同四半期は営業利益65百万円）、経常損失は345百万円（前年同四半期は経常利益77百万円）、四半期純損失は331百万円（前年同四半期は四半期純利益68百万円）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ、918百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が226百万円、未収消費税等が185百万円及び未収入金が152百万円減少したこと等によるものであります。

また、負債は、前事業年度末に比べ、495百万円減少しました。これは主に短期借入金が300百万円並びに支払手形及び買掛金が142百万円減少したこと等によるものであります。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて16百万円増加し、資金残高は330百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は324百万円となり、前年同四半期と比べ354百万円増加しました。これは主に減価償却費が234百万円増加したこと等によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は88百万円となり、前年同四半期と比べ295百万円減少しました。これは主に有形固定資産の取得による支出が1,303百万円減少したものの、有価証券の売却及び償還による収入が1,600百万円減少したこと等によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は396百万円となり、前年同四半期と比べ288百万円減少しました。これは主に短期借入金の純増減額（減少額）が298百万円増加したこと等によるものであります。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (5) 研究開発活動

当第2四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

なお、研究開発費として特に計上すべき金額はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	13,750,000
計	13,750,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	9,610,000	9,610,000	福岡証券取引所	単元株式数 1,000株
計	9,610,000	9,610,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	9,610,000	-	1,989,630	-	1,989,711

( 6 ) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
西部瓦斯株式会社	福岡市博多区千代一丁目17 - 1	3,205	33.35
サンヨー食品株式会社	群馬県前橋市朝倉町555- 4	1,925	20.03
凸版印刷株式会社	東京都台東区台東一丁目5 - 1	308	3.20
丸東産業株式会社	福岡県小郡市干潟892 - 1	258	2.68
藤田 喜代子	福岡市南区	222	2.31
株式会社シマ・クリエイティブハウス	東京都港区南青山七丁目4 - 20	219	2.27
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神二丁目13 - 1	218	2.27
大陽製粉株式会社	福岡市中央区那の津四丁目2 - 22	209	2.17
ふくぎん保証株式会社	福岡市西区姪浜駅南一丁目7 - 1	198	2.06
株式会社福岡中央銀行	福岡市中央区大名二丁目12 - 1	192	1.99
計	-	6,955	72.37

( 7 ) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 53,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,534,000	9,534	-
単元未満株式	普通株式 23,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	9,610,000	-	-
総株主の議決権	-	9,534	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又 は名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社マルタイ	福岡市西区今宿青 木1042番地1	53,000	-	53,000	0.55
計	-	53,000	-	53,000	0.55

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	313,275	330,006
受取手形及び売掛金	1,958,541	1,731,642
1年内償還予定の関係会社社債	199,910	199,999
商品及び製品	119,902	136,350
仕掛品	40,137	39,741
原材料及び貯蔵品	69,000	60,798
その他	601,992	150,544
流動資産合計	3,302,760	2,649,082
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,420,967	2,338,667
機械及び装置(純額)	1,721,993	1,587,016
土地	1,255,079	1,255,079
その他(純額)	337,735	308,672
有形固定資産合計	5,735,775	5,489,435
無形固定資産	105,335	94,936
投資その他の資産		
投資有価証券	526,461	521,901
その他	77,333	74,149
貸倒引当金	3,500	3,500
投資その他の資産合計	600,295	592,550
固定資産合計	6,441,405	6,176,923
資産合計	9,744,166	8,826,005



(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	985,746	843,367
短期借入金	300,000	-
未払金	488,135	397,768
未払法人税等	4,265	8,463
賞与引当金	45,187	57,071
その他	41,591	64,066
流動負債合計	1,864,924	1,370,738
固定負債		
繰延税金負債	118,752	122,368
退職給付引当金	95,711	102,006
役員退職慰労引当金	44,219	37,401
その他	83,305	79,141
固定負債合計	341,988	340,917
負債合計	2,206,913	1,711,656
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,989,630	1,989,630
資本剰余金	1,989,711	1,989,711
利益剰余金	3,565,406	3,138,820
自己株式	30,991	31,340
株主資本合計	7,513,756	7,086,821
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,496	27,527
評価・換算差額等合計	23,496	27,527
純資産合計	7,537,252	7,114,349
負債純資産合計	9,744,166	8,826,005

( 2 ) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,354,802	3,496,603
売上原価	1,920,557	2,303,060
売上総利益	1,434,244	1,193,543
販売費及び一般管理費	1,368,590	1,543,980
営業利益又は営業損失( )	65,654	350,436
営業外収益		
受取利息	6,219	2,261
受取配当金	4,162	4,977
補助金収入	10,621	-
還付加算金	-	4,454
その他	6,921	6,663
営業外収益合計	27,925	18,356
営業外費用		
支払利息	138	225
たな卸資産廃棄損	12,688	10,843
その他	2,926	2,254
営業外費用合計	15,753	13,322
経常利益又は経常損失( )	77,825	345,403
特別利益		
投資有価証券売却益	10,370	5,553
交付金収入	-	16,742
特別利益合計	10,370	22,295
特別損失		
固定資産売却損	14	-
固定資産除却損	14	636
投資有価証券評価損	9,816	-
特別損失合計	9,845	636
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失( )	78,350	323,744
法人税、住民税及び事業税	6,465	3,837
法人税等調整額	3,636	3,432
法人税等合計	10,101	7,270
四半期純利益又は四半期純損失( )	68,249	331,015

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ( )	78,350	323,744
減価償却費	56,231	291,195
長期前払費用償却額	63	70
ソフトウェア償却費	4,665	12,133
賞与引当金の増減額(は減少)	15,333	11,884
役員賞与引当金の増減額(は減少)	24,587	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	235	6,295
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,210	6,817
受取利息及び受取配当金	10,382	7,239
投資有価証券売却損益(は益)	10,370	5,553
投資有価証券評価損益(は益)	9,816	-
支払利息	138	225
有形固定資産売却損益(は益)	14	-
有形固定資産除却損	14	636
交付金収入	-	16,742
売上債権の増減額(は増加)	248,489	226,899
たな卸資産の増減額(は増加)	82,582	7,849
仕入債務の増減額(は減少)	67,498	142,358
未払金の増減額(は減少)	38,692	93,698
未収消費税等の増減額(は増加)	-	185,007
未払消費税等の増減額(は減少)	2,941	22,269
その他	202,735	39,206
小計	108,762	191,822
法人税等の支払額	139,293	4,947
法人税等の還付額	-	137,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,531	324,005
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	200,000	-
従業員に対する長期貸付けによる支出	324	13
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	766	421
有価証券の取得による支出	100,000	-
有価証券の売却及び償還による収入	1,600,000	-
投資有価証券の取得による支出	11,932	1,885
投資有価証券の売却及び償還による収入	41,551	7,198
有形固定資産の取得による支出	1,348,360	44,950
有形固定資産の売却による収入	37	-
無形固定資産の取得による支出	7,813	810
交付金収入の受取額	-	121,775
利息及び配当金の受取額	10,957	7,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	384,882	88,882

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	2,000	300,000
利息の支払額	138	222
自己株式の取得による支出	39	348
配当金の支払額	105,002	95,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	107,180	396,156
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	247,170	16,731
現金及び現金同等物の期首残高	1,171,605	313,275
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,418,776	330,006

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
販促費	651,333千円	723,867千円
従業員給与及び手当	167,974	163,339
賞与引当金繰入額	38,768	28,277
役員退職慰労引当金繰入額	4,695	4,584
退職給付費用	4,693	5,123

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,118,776千円	330,006千円
有価証券勘定	400,000	-
MMF及び預入期間が3か月以内の 譲渡性預金以外の有価証券	100,000	-
現金及び現金同等物	1,418,776	330,006

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	105,131	11	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	95,571	10	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社は食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益又は四半期純損失( )	7円14銭	34円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	68,249	331,015
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ( )(千円)	68,249	331,015
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,557	9,556

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社 マルタイ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 東 能利生 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 矢野 真紀 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マルタイの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第51期事業年度の第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マルタイの平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。